



第133回ミニゼミ

テーマ…「地球をもっと知ろう！私たちの地方の成立を化石から学ぼう！」

講師…瑞浪市化石博物館 学芸員

博士（理学） 安藤佑介さん

7月16日（土）午後一時半より中央公民館2-1学習室にて45名出席で開催されました。

6月6日（月）と6月11日（土）の新聞報道によると、哺乳類の背骨などの化石が住民により発見されて、全身の骨格であることが判明。短期間に多くのことが明らかになり今回のお話しの中心になりました。

恐竜の絶滅した約2億年前の出来事が注目されやすいが、瑞浪層の1500万年～2000万年前の中新世は生物が大型化した重要な時期です。例えばクジラは2m前後から10～20mに大型化しました。



今回の発見物は、東柱類に含まれるパレオパラドキシア類で、頭はゾウに似て、脚はサイに似ているサイ近縁類。今後の調査で全体像が明らかに。東柱類の特徴も会場で講師が描かれたイラストで理解が進みました。

このほか瑞浪層で発掘されたエゾイガイや講師が発見し、自らクリーニングされたアシカの仲間の化石（頭部）も説明を受けながら観察することができました。冒頭から講師の語り口に引き込まれ、日頃体験できないお話しに時間も忘れ充実した時間でした。

特に参加された中高生達の熱心な姿勢にエールを送られていたのも印象的でした。

東柱類の特徴である、歯が束になっている様子が分かりやすく描かれている。



予告！ 第134回ミニゼミ

テーマ…地球をもっと知ろう第二弾！

「地球を知るのに必要なミネラル（鉱物）」

講師 中津川市鉱物博物館

学芸員 大林 達生さん

来たる9月17日（土）午後一時半より中央公民館ホールにて開催します。

地球の歴史書ともいえる鉱物がひも解く大地のひみつを紹介します。



2022年は世界鉱物年



☆ミニゼミ関連企画展示

8月～9月展示コーナーの一面を使用して企画展示をしています。



図書館くらぶ員のお勧めの本

『地図で読む松本清張』

著者 北川 清・徳山加陽^{かや} 帝国書院

本の帯に「地図とともに甦る 清張が描いたあの作品 あの時代」とある。まさにその通りの本である。今年には清張没後30年。

『ゼロの焦点』や『砂の器』など十一作品に登場する土地を取り上げて当時の様子や世相、今日までの変遷史など情報が満載。例えば『ゼロの焦点』では立川と金沢や能登の街が出てくる。当時立川は米軍基地の街だった(そうそう)。昭和52年米軍の横田基地移駐により基地は全面返還され、今は陸上自衛隊駐屯地や国営昭和記念公園などになっている。写真や地形図も入って比較ができる。もちろん作品のあらすじも入っている。資料編には『昭和32年 中学社会科地図』が復刻されていて、清張作品に出てくる地名や戦後の「昭和」の主要な出来事が起きた場所も示されている。映画ロケ地探訪などもある。残念ながら中津川は登場しない。岐阜県では『眼の壁』で追い詰められた右翼のボスが最期を迎える瑞浪だけである。

間 裕子

谷川 俊太郎

「生きる」より

夜 お風呂に浸りながら

今日あった出来事を思い出すこと

仲間と一緒にご飯を食べたこと

街を歩きながら声を合わせて歌ったこと

なんてことないことで

仲間とお腹がよじれるくらい笑いあったこと

そんなことを思い出して

また一人で笑っちゃうこと

「またみんなとご飯食べたいな」

って思えること



◎ミニゼミのテーマ募集!

みなさんはどんなことを知りたいですか?
あるいはどんなことに興味がありますか?

ミニゼミで取り上げて欲しいテーマ・内容などをお聞かせください!

※図書館くらぶは、平成23年6月に市民が自由に発表できる機会として、又小規模で気軽に情報を共用化し、更に深める為に図書館およびネットワークを活用できることを目的に「ミニゼミ」と称し開設しました。

☆花ボランティアの活動

毎週火曜日と金曜日に生花を持ち寄り館内10ヶ所に飾っている。

図書館くらぶ

女子会の活動。

写真は万葉歌

に歌われている

ケイトウ(韓藍)

の花



元気な街には 充実した図書館あり!

素敵な街には 素敵な図書館があり!

図書館は0歳〜100歳みんなの居場所です!

図書館くらぶ 会長 桑澤宏康

TEL(66)0249